

課題番号1

課題名	【重点課題1】ビジネスマインドを持つ農業者の育成 能勢から始まる農の成長産業化	
対象: 能勢4Hクラブ(内、経営発展志向農業者6名)		計画期間:H29~R3 事務所名:北部農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果(達成率)
担い手育成モデルの確立	①6次産業化プランナー派遣 ②加工所建設支援 ③ビジネスコンテストへの応募	①対象者の販売金額の増加 1500万円⇒1,580万円(105%増)

総合評価(コメント)
<p><b>A : 3名      B : 4名</b></p> <p>■能勢から始まる農の成長産業化をテーマに、特に新規就農者を対象とした経営強化活動であり、その活動成果が確認できる。地域農業の将来を考える上で、新規就農者の確保・育成に照準をあてた普及組織ならではの活動として評価できる。</p> <p>■計画や課題設定、普及活動の実施方法はおおむね適切である。今後は、新規就農者どうしの情報交流やノウハウの蓄積が、地域を超えて実現するような仕組みづくりが期待される。</p> <p>■当初目標が達成できたのは成果である。一方、目標達成が6人という水準は必ずしも十分とはいえず、より幅広い農家の経営安定を支援していく必要があるのではないかと。</p> <p>■新規就農者の成功モデルとして6次産業化を入れる場合は、通常の農業との相違点など、持つべき経営者意識や投資金額も含めて支援してほしい。</p> <p>■能勢町4Hクラブで地域ブランド商品はできないものか。</p> <p>■都市近郊という強みを生かし、6次産業化や有機栽培等による高付加価値化を活用した農業振興策としては成果が上がっているが、今後の継続性や波及効果は課題として残るため、さらなる取組に期待する。</p> <p>■地域農業を新規就農者の成長により牽引していく内容は、北部だけでなく、府内、国内農家との連携支援を行うことでさらに拡大していくと思われる。天候不順や自然災害を乗り越え、農業の可能性と4Hクラブなどのネットワークを活かした支援を継続していただきたい。</p>

評価 A:おおむね適切である。 B:部分的に検討が必要である。 C:見直しが必要である。